

## TOPIC

1. 対面による会議、講演会、研究会をあきらめていませんか？
2. コロナ特例・テレビ電話再診
3. 通訳・翻訳サービスを提供しています

05  
2020

## TOPIC

アジア遠隔医療  
開発センター

### 対面による会議、講演会、研究会をあきらめていませんか？

テクニカルスタッフ 富松俊太

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、対面で開催される予定だった会議や講演会、研究会、研修などが中止・延期となっていませんか。アジア遠隔医療開発センターはビデオ会議システムを利用した国内外の会議に多くの実績があります。院内外でお困りの皆様へ、ビデオ会議の技術サポートから機材貸出まで対応いたします。会の形態や大小は問いませんので、お気軽にお問い合わせください。

#### オンライン会議の例

- 学生講義（全体授業、グループ学習など）
- 会議（学内委員会、学会理事会など）
- 医局勉強会・症例検討会
- 講演会・研修会・学位審査
- 学会（全国大会、地方会）
- 海外との接続（研究打合せ、講演会など）



福岡こどものきこえを支援する会 代表者会  
耳鼻咽喉科の医局から、市内の小中学校を接続しました。

#### サポートをした部署

- ・第一内科 ・医療連携センター
- ・第二内科 ・麻酔科蘇生科
- ・第一外科 ・耳鼻咽喉科
- ・眼科 ・小児がん拠点病院事務局
- ・検査部 ・医療系統合教育研究センター
- ・事務部 ・大学医学部

今年度開催予定の

- 日本医療情報学会
  - 日本医療病院管理学会
- のオンライン開催に技術協力しています！

#### アジア遠隔医療開発センター

TEL : 092-642-5014  
H P : <http://www.temdec.med.kyushu-u.ac.jp/>  
MAIL: [tem-tech@med.kyushu-u.ac.jp](mailto:tem-tech@med.kyushu-u.ac.jp)



## TOPIC

海外交流センター

### コロナ特例・テレビ電話再診

口唇口蓋裂の患者さんに対する言語訓練をオンラインで実施

医員 田尻姿穂

COVID-19 に対する感染対策強化のため歯科部門で診療制限が行われていました。アジア遠隔医療開発センターと協力し、継続して行う必要のある言語訓練をパソコンやスマートフォンを用いて実施しました。5/8～5/29 までに 53 件実施することができました。多くの患者さんから喜びの声をいただき、オンライン診療の有用性を感じました。今後活用の幅を広げていきたいと思えます。



診察の様子



言語訓練（絵カード）の様子



Zoom 画面



診察の様子

## 報告 2019 年度は 389 人の外国人研修・訪問を受入

- ・外国人研修受入：21 カ国 63 施設、合計 88 人
- ・海外からの病院見学：12 カ国 25 団体、合計 301 人



栄養管理部 / ブラジル



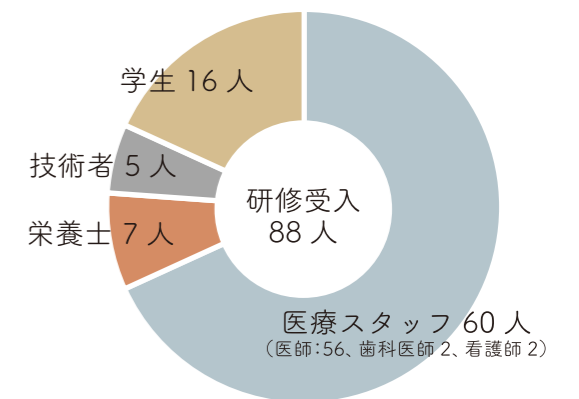
光学医療診療部 / ベトナム



病理部 / コロンビア



麻酔科蘇生科、手術部 / 中国



小児科・皮膚科・泌尿器科・眼科・看護部・第一外科・第二外科・第一内科・第二内科・リハビリテーション部・神経内科・循環器内科・検査部・薬剤部・放射線部・顔面口腔外科・矯正歯科・小児外科・整形外科・総合診療科・脳神経外科・グローバル感染症センター・救命救急センター・経理課など、多くの診療科・部署にご協力いただきました。

#### 海外交流センター

TEL : 092-642-4439  
H P : <http://plaza.umin.ac.jp/ovex/index.html>  
MAIL: [OVEX@med.kyushu-u.ac.jp](mailto:OVEX@med.kyushu-u.ac.jp)



外国人研修希望者から連絡があった場合は、各診療科・部署の国際化担当者を通してご相談させていただきます。診療科で招聘希望の場合も、受入手続き等サポート可能です。左記までご連絡ください。

臨床助教 相良理香子

昨今の事態を受け、患者さんご本人やご家族に電話したり、面会時間に関する書面をお渡しする機会が増えていると思います。そんなときに便利なサービスをご紹介します。

● **電話通訳サービス** 365日・24時間対応! 17言語対応! 無料!

福岡アジア医療サポートセンター



お財布に入るサイズです

上記連絡先や利用方法を記載したカードを作りました!

病院スタッフ用と、患者さん用(英語&中国語)の2種類があります。

国際診療支援センター(092-642-4231)までご連絡ください。

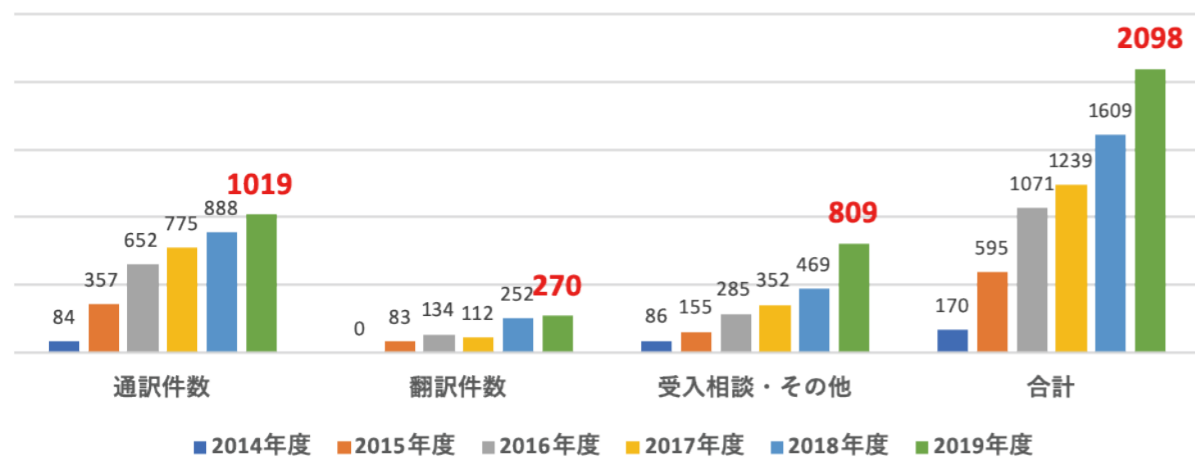
● **院内文書翻訳サービス**

九州大学病院国際診療支援センター

患者さんにお渡しする文書や院内で使用する文書の英語・中国語への翻訳を行っています。文書の長さ、内容によって仕上がる時間が異なりますので、時間に余裕をもって翻訳依頼を行ってください。本サービスご利用の方は、国際診療支援センターのメールアドレスに日本語の文書データをご送付ください。

## 報告 院内の通訳・翻訳等の総実績 2000件突破

- ・業務総実績 2098件(通訳 1019件、翻訳 270件、受入相談 522件、その他 287件)
- ・支援外国人患者出身国総数: 45か国
- ・国際連携ネットワークで15か国から112件の外国人患者からの相談対応、うち38名を受入。(他院紹介9件)
- ・アジア遠隔医療開発センターとの連携の下、整形外科医師のご協力を得てベトナムとの遠隔医療相談を提供。



国際診療支援センター

TEL: 092-642-4231 HP: <http://plaza.umin.ac.jp/ipac> MAIL: [bynkokusai@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:bynkokusai@jimu.kyushu-u.ac.jp)



## 報告 遠隔医療教育ネットワーク 71か国 801施設へ

助教 工藤孔梨子

ロシア内視鏡カンファレンスや、インドネシア神経内科カンファレンスなど、2019年度は171件の遠隔医療教育プログラムを支援することができ、新たに32ヶ国125施設の医療施設の参入がありました。連携国の技術者養成と医療スタッフ間の連携強化のため、2019年6月にキルギス、10月にブータンでそれぞれ初めての遠隔医療ワークショップを、ベトナム(4月)、インドネシア(11月)、ミャンマー(2020年1月)で同ワークショップを継続開催し、各国内へ遠隔医療連携ネットワークを拡大させています。



ロシアとの内視鏡テレカンファレンス



第1回 ブータン遠隔医療ワークショップ

## 編集後記

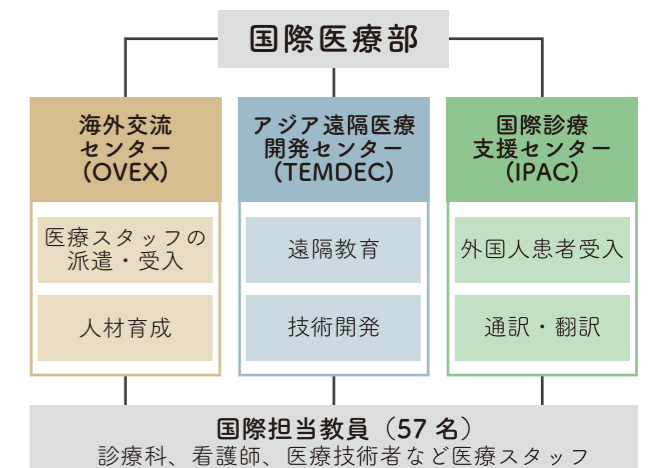
部長 清水周次

つい数か月前までは予想だにできなかった激震が世界中を席卷し、生活スタイルは一変。経済的にも多大な影響を与えています。良い意味でも悪い意味でも、今地球は一つのコミュニティになっています。国際的連携の必要性は、今後も増大することはあっても縮小することはありません。国際医療部のリソースとノウハウを最大限活用し、九大病院および医系地区発展のために尽力したいと考えています。第一号となる「国際医療部だより」をお届けします。今後共、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



## 国際医療部とは

国際医療部は、国際化を推進し、医療、教育及び研究の分野において国際貢献・社会貢献を目指しています。右図の通り、国際医療部は3つのセンターから構成されており、各センターには、全て英語のできるスタッフを配置するとともに、各診療科から選出された国際担当教員等による協力体制を築きます。



2020年度国際医療部だより 2020年5月発行

九州大学病院 国際医療部, 福岡市東区馬出3-1-1, <http://www.imed.med.kyushu-u.ac.jp/index.html>

TEL: 092-641-1151 FAX: 092-642-5008 MAIL: [ibssyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:ibssyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp)

デザイン: テクニカルスタッフ 岡田真由子